

事務事業名	6988 保養所管理運営事業														
担当組織	市民生活部					防犯くらし交通課					担当	相談担当			
組織コード	R2	13	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	03	01	07	01	01	記入日	令和 2年 6月18日	
	R1	13	06	00		R1	01	03	01	07	01	01			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補	
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち										○ 対象		
分野	02	健康づくり										● 対象外		
施策	17	健康づくり体制の推進												
事業期間	昭和44年度～													
根拠法令 通達等	戸田市保養所条例, 同施行規則					関連計画 施政方針								
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
対象	市民等													
事業目的	市民等が日常生活のリフレッシュとして、保養所でレジャーや趣味に興じたり、温泉入浴することで充実した余暇を過ごす事ができる。													
事業内容	市民等がくつろげる保養施設として、十分満足いただけるよう、安価な利用料金で質の高いサービスを提供する。													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()													

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
	事業費		94,119	97,584	97,243	95,391	95,391	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		94,119	97,584	97,243	95,391	95,391	
	人件費		2,396.8	3,081.6	3,081.6	3,081.6	3,081.6	
	投入 人員	常勤職員	0.35人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		96,516	100,666	100,325	98,473	98,473		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	保養所稼働日数	日			340	340	285
						325	353	-
	活動②							
	成果①	保養所一日あたりの利用者数	人/日	年度利用者数/稼働日数 29年度より指標変更		28.5	28.6	28.7
28						26.3	-	
成果②								
目標達成 状況 の分析		B: 活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 今年度は、大きな修繕もなく、稼働日数は目標を達成した。一日あたりの利用者数については、新型コロナウイルスの影響により外出自粛の傾向が強まったため、2-3月の花見シーズンに宿泊者が減少し年間9,267人となり、目標には到達しなかった。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 安価な利用料金で安定したサービスを提供することで、利用者が心身ともにリフレッシュすることができ、結果として市民の健康増進に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 平成19年度より指定管理制度を導入し、限られた指定管理料の範囲内で民間のノウハウを活かした適切な運営管理がなされており、定期的なメンテナンス等による経費削減が図られている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 限られた指定管理料の範囲内で民間のノウハウを活かした適切な運営管理がなされており、インターネットによる申込受付など、業務の簡素化・効率化に努めている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	C：受益・負担の一部に見直しが必要である。
	C	C	C	<判断理由> 利用については、市民及び市内在勤者については市外利用者に比べ、低価格での宿泊が可能であり、高齢者・障がい者に関しては宿泊料が免除となっている。このことから利用者については、高齢者が多いなどの偏りがあり、一部負担の必要性については検討の必要がある。

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	保養所については、公共施設再編プランの対象となっており、今後の方向性について検討の必要性が高まっている。このため、令和2年度の検討委員会の立ち上げに向けて、委員の選定・要綱の設置などの準備を行った。
見直しの効果	令和2年度の検討委員会開催へ向けた調整が終了し、今後の方向性の検討へ向けた準備が整った。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input checked="" type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 平成19年度から引き続き指定管理者制度を実施しており、現在公共施設再編プランにおいて、平成34年度までに「施設廃止を含め、民間施設の代替利用等について検討する」との方針が示されている。このため、令和2年度以降は施設の存続、廃止及び代替利用のメリット・デメリット等を含め今後の方向性について慎重に検討を行う。また、一定の結論が出るまでは、今後も民間のノウハウを取り入れたサービスの向上と利用者の増加を引き続き図っていく。
今後の取組方針	引き続き、指定管理者とともに利用者の増加（特に市民利用の増加）を目指し、各種サービスの充実を図る。また、近隣の保養所施設運営状況等も参考にしながら、今後の施設の方向性を決定する。

事務事業名	35784 福祉保健センター管理運営費													
担当組織	福祉部				福祉保健センター					担当	保健政策担当			
組織コード	R2	17	25	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	04	01	01	04	01	記入日	令和 2年 6月10日
	R1	17	25	00		R1	01	04	01	01	04	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち									○ 対象		
分野	02	健康づくり									● 対象外		
施策	17	健康づくり体制の推進											
事業期間	平成24年度～令和2年度												
根拠法令 通達等	戸田市福祉保健センター条例 戸田市福祉保健センター条例施行規則				関連計画 施政方針		戸田市第4次総合振興計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民												
事業目的	市民が施設を安全に使用するため、効率よく、適切に施設設備を維持管理すること。												
事業内容	①警備、清掃業務及び設備保守等の施設管理業務全般 ②貸室業務 ③売店運営支援 ④施設内入所事業者等の調整業務												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
	施設の維持管理							
	事業費		30,864	34,818	34,224	34,818	34,818	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	1,142	1,142	1,142	1,142	
		一般財源	30,864	33,676	33,082	33,676	33,676	
	人件費		5,409.92	4,862.08	4,862.08	4,862.08	4,862.08	
	投入 人員	常勤職員	0.79人	0.71人	0.71人	0.71人	0.71人	
非常勤職員		0.2人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
事業費+人件費		36,274	39,680	39,086	39,680	39,680		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	消防訓練の実施回数	回	1年間の実施回数	2	2	2	
					2	2	-	
	成果①	来館者数	人	1年間の開館日の来館者数	40,000	40,000	33,000	
					33,327	37,388	-	
	成果②	貸室利用者数	人	1年間の貸室利用者数	6,000	6,000	4,000	
5,947					4,824	-		
目標達成状況の分析		B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 消防訓練は2回実施し、火災発生時における行動及び設備の使用方法について再確認をした。 また、貸室の利用者数の減少は、乳幼児健診による施設の利用を優先するため、原則として、駐車場利用者が多い、乳幼児健診実施日の貸室を取りやめたためである。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 市民の健康づくりと福祉の向上を図るため乳幼児健診や健康教育の実施、貸室業務などを実施している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 予算及び仕様書に基づき入札または見積合わせを実施し、最低価格を提示した業者と契約を締結しており、施設設備の保守を行うために、適切な事業費である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 市民が安全に施設を利用できるようにするため、総合管理業務や施設設備等の保守点検は専門業者に委託し、適正及び効率的な安全管理を行っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 貸室の使用料は受益者負担となっており、適正な範囲である。

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	新型コロナウイルス感染の拡大防止を図る観点から、2月から交流スペースや貸室業務を中止した。
見直しの効果	2月以降、センターへの来館者が減少した。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 公共施設予約システムについては、インターネットから予約が可能であり、サービス向上に繋がっている。 施設管理については、今後も業者に委託し、施設設備等の管理を適正及び効率的に行っていく。 また、有事に備え防災訓練等を継続的に行っていく。
今後の取組方針	施設管理については、安全に利用できるよう適切に保守点検、整備を行っていくとともに、市民にも適切な利用を呼び掛けていく。また今後、設備の修繕等の増加が考えられることから、施設点検マニュアルに基づき、日常的に施設点検を行い、修繕箇所等の早期発見に努め予算の計画を立てていく。 さらに、健康福祉の杜の他施設や社会福祉協議会と連携し防災訓練を行う等、有事の対策を具体的に進める。

事務事業名	27570 地域保健推進事業													
担当組織	福祉部					福祉保健センター					担当	保健政策担当		
組織コード	R2	17	25	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	04	01	01	05	01	記入日	令和 2年 6月10日
	R1	17	25	00		R1	01	04	01	01	05	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち										● 対象 ○ 対象外	
分野	02	健康づくり											
施策	17	健康づくり体制の推進											
事業期間	昭和57年度～令和2年度												
根拠法令 通達等	戸田市保健対策推進協議会条例					関連計画 施政方針	戸田市第4次総合振興計画 第3次戸田市健康増進計画 第2次戸田市食育推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民												
事業目的	市民の健康が保持・増進することを目的とする。												
事業内容	①地域の保健・医療団体及び健康づくりを目的とした市民団体等に対する活動支援。 ②戸田市健康福祉の杜まつりの運営 ③献血事業 ④保健対策推進協議会の運営 ⑤保健情報システムの保守管理												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (食改・医師会等)												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)
	事業費		19,783	26,239	22,201	25,239	25,239
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	65	65	65	65
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	23	23	23	23
		一般財源	19,783	26,151	22,113	25,151	25,151
	人件費		7,806.72	6,574.08	6,574.08	6,574.08	6,574.08
	投入 人員	常勤職員	1.14人	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人
		非常勤職員	0.1人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
事業費+人件費		27,590	32,813	28,775	31,813	31,813	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	保健対策推進協議会実施	回	1年間の保健対策推進協議会開催回数	4	2	2
	活動②	健康福祉の杜まつりの実施	回	市民が健康への意識を高めてもらうことを目的	4	2	-
	成果①	市民の企画した健康づくり事業回数	回	市民の企画した健康づくり事業回数	1	1	0
					1	1	-
	成果②	健康福祉まつりの来場者数	人	健康福祉まつり参加者数	10	10	10
13					14	-	
				900	1,500	0	
				1,416	1,132	-	
目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 保健対策推進協議会を2回開催し、市の保健対策全般を審議した。また、第2次戸田市健康増進計画に基づく地域との協働により市民の企画した健康づくり事業回数も目標を達成したことや、健康福祉の杜まつりも、雨天のため来場者数は減少したが、関係団体や企業、地縁団体等との協働により円滑に開催できた。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は、健康福祉の杜まつりの中止が決定した。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 保健対策推進協議会は、有識者や市民委員との協議を行う場として戸田市の保健行政に対し専門的な意見や市民の意見を広く得ることの出来る場であり大きな役割を果たしている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 地域の保健事業に関わる団体の補助金について見直しを行い、使途や金額の妥当性を確認した。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 地域保健の関係者や企業等の協力により健康福祉の杜まつりを実施することができた。保健ガイドを作成して市民へ福祉保健センターの実施する事業の情報提供を行うことにより事業を適切に実施できた。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 保健ガイドの作成費（1冊単価）をガイドに記載することにより、適正なものであることを市民に対し理解を得られるよう努めている。

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 平成30年度に健康増進計画及び食育推進計画を策定した。関連部署と連携をとりながら、引き続き各種計画の推進に取り組む。
今後の取組方針	策定した健康増進計画に基づき、横断的・総合的な取り組みを進めるとともに、地域との協働を意識し、市民の健康づくりを推進する。 健康福祉の杜まつりは、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で中止とするが、今後も引き続き、敷地内の各団体と協力し運営していく。